

人間発達論

[講義] 第1学年 前期 必修 1単位

《担当者名》今井 常晶 (心) imai@hoku-iryu-u.ac.jp

【概要】

人間を理解する際に基本となる発達の理解についての科目である。主として発達心理学の知見についての講義を中心に進める。

【学修目標】

1. 人の誕生から児童期にかけてを取り上げ、彼らの能力がどのように変化・成長していくかについて理解できる。
2. 発達心理学の知見を発達援助の臨床現場に生かす際の視点について理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	乳児期の発達	赤ちゃんが持っている能力について知り、また歩行の獲得に至るまでの運動面の様子について理解する。	今井
2	乳児期の発達	母子のコミュニケーションを通じた愛着の形成について理解する。	今井
3	乳児期の発達	言葉の獲得に至るまでの様相と言語発達を支える能力について理解する。	今井
4	幼児期の発達	遊びの広がりや仲間関係の発達について理解する。	今井
5	幼児期の発達	読み書き能力の獲得に至る様相について理解する。	今井
6	児童期の発達	思考の発達と仲間関係の集団化について理解する。	今井
7	発達援助の臨床	乳幼児健診の実際について、DVDで学ぶ。	今井
8	発達援助の臨床	発達に遅れのある子どもの特徴について理解する。	今井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）100%

【教科書】

無藤隆・岡本祐子・大坪治彦編 「よくわかる発達心理学」 ミネルヴァ書房

【参考書】

適宜資料を配布する。

【学修の準備】

- ・テキストを随時読んでおき、関連する話題について理解しておくこと（予習2時間）。
- ・各回で学んだことを復習しておくこと（復習2時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

【実務経験】

発達障害児に対する発達支援の実務経験あり（公認心理師・言語聴覚士・音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

すべての回で、関連した事例があれば話題提供する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している